

きっと見つかる、ずっとつながる笑顔の和

第19号  
2022年  
07月

# わげん便り

新入職員3ヵ月フォローアップ研修が、3年ぶりに行われました。  
総勢42名の法人職員が6チームに分かれ無事登山が出来ました。  
この研修を通じて法人理念を念頭におき、業務に結び付けられたいと思います。



新人研修 高尾山登山 2022年6月8日撮影

## ～目次～

- ・新年度御挨拶 理事長 座間研一.....1P
- ・2022 年度入職式.....2P
- ・ワゲン新横浜 新施設長の御挨拶.....3-4P
- ・ワゲンの森八王子開所.....5-6P
- ・教育作業部会活動報告.更生病院よりお知らせ.....7-8P
- ・あの人、この人、こんな人（ワゲン新横浜）.....9P



# 新年度を迎えて



ワケン福祉会 理事長 座間研一

今年に入り世界の安全の枠組みが大きく変わろうとしています。経済状況も悪化の方向に向きコロナ禍あり、まだまだ先の見えない状況です。われわれの生活が大きく揺らぎ、物価高騰もどんどん進みただならぬ不安が漂っています。

我々、社会福祉法人は社会の最後のセーフティーネットとして、高齢者、障がい者、幼児、貧困、医療の必要な弱者と言われている人々を支えていかななくてはなりません。

社会福祉法人ワケン福祉会は和顔愛語（わけんあいご）、先意承問（せんいじょうもん）の理念の基、医療・福祉の一体となった法人として、地域社会に貢献していきます。

また、かつてない少子高齢化により、雇用の状況も年々厳しさを増してきています。

ワケン福祉会は、労働生産性の向上を図り、若者、女性、高齢者、障がい者など働く意欲のあるすべての方々に就労の機会を設けると共に、法人理念を浸透させ、法人全体でスペシャリストの育成を図っていきます。

法人全体で社会貢献できるグループを目指し、医療・福祉が一体となった法人の特色を生かし、幅広く活躍できる人材の育成をし、社会や地域のニーズに応えられる法人を目指していきます。

# 2022年度入職式



座間研一理事長 御挨拶



関係者代表御挨拶 松本豊病院長（更生病院）



会場の様子



新入職員代表挨拶 石崎美貴（放射線科）



2022年4月1日相模原市内貸会場において、ワゲン福祉会は35名の新入職員を迎え入れました。新型コロナウイルス感染対策を十分に行い無事に入職式を迎えたことは、関係各所の皆様の御協力があり実現出来ました事でありますので、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

## ワゲン新横浜 新施設長御挨拶



ワゲン新横浜  
施設長  
**青木 純一**

この度、令和4年4月1日付で、特別養護老人ホームワゲン新横浜の施設長に就任いたしました青木と申します。

微力ではありますが、当事業所のご利用者・ご家族・地域社会・職員の為に精一杯努力することはもちろんのこと、法人内各事業所と連携し、法人として更なる飛躍の一助となるよう精進していく所存です。

まだまだ未熟ではありますが、皆様のご指導ご鞭撻を承りますようお願い申し上げます。

### 自己紹介

横浜市の南部（徒歩数分で鎌倉市）に生まれ育ちました。

介護系学校卒業後、身体障害者療護施設で14年間勤めた後、ワゲン新横浜に転職し13年。ケアワーカー⇒介護係長⇒課長を経験し、昨年9月に法人より施設長の打診を受けました。「誰もが経験できる職ではない」と腹をくくり、快諾しました。3月までは介護課長兼務でしたが、4月からは施設長として今日に至ります。

また副施設長として、元相談課長（ケアマネ）の佐藤が就任しました。介護と相談支援経験者がトップに立つことを我々の強みとして、運営に携わっていかうと思えます。

平成16年にうぶ声を上げたワゲン新横浜は、座間前施設長（現統括施設長・理事長）により、18年の年月を経て立派な施設に育てていただきました。その命（いのち）を継承しつつ、更に新しい息吹を入れ込むために、新ポストとして副施設長・部長を設置し、協働しながら発展させていこうと思っております。

# ワゲン新横浜 基本方針

## 【ご利用者・ご家族の視点に立った運営】

- ・将来を見据えた、施設需要に合った受け入れ体制を構築します。  
(自立・寝たきり・認知症・医療的ケア…に特化したフロアの創設)
- ・ご利用者のやりたいこと・楽しみ・想いの実現(個別ケアの実施、ケアプランの見直し、個別担当制の強化)
- ・定期的な利用者個別の情報提供強化を行います。

## 【地域の視点に立った運営】

- ・地域活動へ積極的に参加し、地域の要望を把握していきます。
- ・開かれた施設を目指します。(トイレ貸し出し表示、会議室の貸し出しなど)
- ・地域への施設情報発信を行っていきます。(新たな場所への広報誌の配布・掲示)

## 【職員の視点に立った運営】

### ★働きやすさ

- ・職員個々の良い点を評価し、賞与や特定処遇で還元していきます。
- ・職員基本マナーの見直し・徹底を行い、居心地の良い職場を目指します。
- ・ハラスメントのない職場を目指します。

### ★透明性のある運営(情報開示)

- ・法人情報・施設情報を可能な限り公開し、自分の職場を知れる機会を創出します。
- ・方針・戦略をわかりやすく提示していきます。

### ★適材・適所の人事

- ・職員の適正・能力にふさわしい地位・職務に就いてもらい、最大限の能力を発揮できる人事体制の構築を図ります。(労働生産性の向上)
- ・職員一人一人の思い描いているキャリア像を尊重し、一緒に考え、醸成していきます。(キャリアデザインの共有・生涯働ける職場づくり)

### ★次世代育成

- ・ワゲン新横浜が存続し、社会貢献を続けていくために10年後、20年後の「ワゲン新横浜の次世代を担う経営幹部や管理職・役職者候補」の育成を行っていきます。

上記内容について、職員全員が同じ方向を向き、副施設長や部長とも協働し、今まで以上にワゲン新横浜が発展していけるよう、尽力していきたいと思っております。

# ワゲンの森八王子



デザイン：金沢 奈都子（わげん保育園保育士）

## ワゲンの森八王子での事業内容

ワゲンの森八王子では、大きく分けて2つの業務があります。相模原市にある総合相模更生病院での看護・介護補助業務と八王子の事業所で行う書類電子化保存業務です。

### 1、看護・介護補助業務(従事者7名程度)

総合相模更生病院の看護・介護の業務補助を行います。退院後やオペ後のベッド作り、茶器洗浄、ひも巻き、備品補充から環境整備など様々な業務を行います。看護・介護の現場をスムーズに動かすことにもなり、看護師や看護補助者の負担を軽減することに繋がります。

### 2、書類電子化保存業務(従事者3名程度)

紙書類をスキャナーとPCを使用して、データ化する業務です。パソコンが苦手な方でも基礎から学ぶことができます。また、個々のペースに合わせて業務を進めることができます。



外観

## 就労支援A型とは

就労継続支援A型とは、障害（身体障害、知的障害、精神障害、発達障害）や難病などにより企業で働くことが難しい方を対象に、雇用契約を結んだ上で一定の支援がある職場で働けることができるようサポートする福祉サービスです。

18歳以上65歳未満で障害者手帳を持っている方を利用対象者としています。雇用契約に基づいた勤務が可能なものの一般企業への就職が難しい方に、一定の支援下継続して働けるような職場を目指す場所です。

生産活動（ワゲンの森八王子の場合は、看護・介護補助業務と書類電子化保存業務）を始め、その他の活動機会の提供、就職に必要な知識や作業能力向上のために必要な訓練・支援を行い、利用者の自立した生活へのお手伝いをいたします。就労継続支援A型は一般就労よりも安心して働くことができ、利用期間の制限はありません。

# ワゲンの森八王子

## 自立支援を実現するための方法

障害者への福祉サービスでは、自立支援が重要視されています。自立支援とは、文字通り自立を促す支援のことを指しています。そして、障害者の場合の自立は、就労ができることを意味します。障害者の場合、様々な面でサポートが欠かせないのが現実です。

就労は仕事だけでなく、日常生活が送れるかどうかも関係してきます。相談やコミュニケーションの支援などを行いながら、利用者に携わるすべての人と協力してサポートしていくことが、自立支援の基本であると思います。

事業所内で就労しながら作業技術を修得し、そこでコミュニケーション力を養うことと、利用者が自分らしく暮らすために継続して働くことでの金銭面、生活面での自立が必要不可欠です。そのあと一般企業での就労へ移行していくのが道順ではないかと思えます。



天井



内装

## 法人職員に向けて

就労継続支援A型事業、障害福祉サービスの中で唯一、利用者と雇用契約を締結し、労働法規の適用を受けるとともに、福祉と労働にまたがったサービスを提供し、障害のある方の労働者性と労働の可能性を高めていくことが求められている事業です。制度の開始以来、A型事業設置数、利用者数ともに毎年増加し、今では全国事業所数3千か所、利用者数8万人を超える社会資源となっています。

A型事業はB型と同じ報酬単価でありながら、最低賃金の支給が義務づけられています。多くの事業所が厳しい経営環境の中で、懸命な努力を続けています。障害のある方にとって真に働く喜びと満足をもたらす事業所にしていくためには、サービスの充実は勿論のこと、利用者の生産活動となる事業の質やあり方を見直し、綿密な計画を立て、支援の人的体制や設備環境等を整え、就労支援事業単体で採算がとれる事業に改善していくことが、特に重要な課題として考えます。これまでも増して皆様のお力添えをお願い申し上げます。



品川一茂 座間研一 七原琢巳  
(指導員) (理事長) (管理者)

# 教育作業部会

## モラルアップ研修



研修者集合写真

各事業所から職員が集まり、新体制で教育作業部会を行なっていく中で、社会福祉法人の役割や法人理念を再認識する必要性を感じ『モラルアップ研修』を企画、3月30日に第一回目の研修が開催されました。法人理念の講義を受けた後、グループワークを行いました。事業所や部署が異なるメンバーで構成されたグループ内では、専門的な知識や経験を活かしたディスカッションが行われ、また絆を深める時間が作れました。事前課題や事後課題の提出もあり皆さん多忙な中でしたが「モラルについて見つめ直す機会がなかったので、振り返ることができた」「責任ある言動をすることが必要だと感じた」等の感想を頂けました。次回は9月を予定しています。

## 未来構想研修



研修者集合写真



講師 飯村芳樹  
経営監理本部長



研修中の様子

令和4年3月13日（日）、今後法人の経営に携わるであろう職員に対する「未来構想研修」が行われました。研修の到達目標は、法人理念を踏まえて法人の現状を分析し、将来のあるべき姿を想像し、その実現に向けて構想を練ること。研修内容は、飯村経営監理本部長による経営的視点に関する講義に始まり、グループワークでの法人の将来像の検討、模擬経営会議でのプレゼンテーションとそれに対する講評という流れでした。様々なアイデアは飛び出すものの、こと財源や収支といった金銭面が絡むと途端に経営の難しさを感じる研修となりました。飯村本部長の「実際の経営会議もこんなに楽しくできれば胃が痛くないのに」というお言葉が印象的でした。

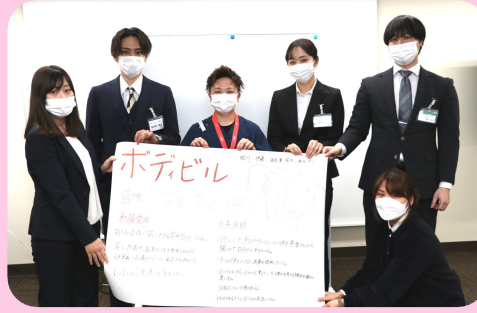


# 教育作業部会

## 新人研修



ファシリテータの皆様



チームごとの発表



研修の様子

「法人理念を理解し、行動ができる」「法人職員としての帰属意識を高める」という2つの目的で、令和4年4月2日に法人新入職員合同研修を実施しました。

今年は28名の新入職員が参加し、研修内容は午前中に「接遇について」「法人理念について」を講義形式で学んで頂き、午後からは午前中の講義をもとに「新入職員としての行動目標の立案」をグループワークで行いましたが、どの職員も意欲的に受講されている姿が印象的でした。

今年度はあと2回（6月・10月）新入職員研修を予定しています。



集合写真

## 更生病院ホームページリニューアル



当院のホームページがリニューアルオープンしました。  
内容と配置を見直し、院内情報をわかりやすくしております。  
採用情報⇒インタビューに各部署の声なども掲載しております。  
又、今回よりスマートフォン対応となりました。  
今後とも宜しくお願い致します。



ホームページQRコード

# 『あの人 この人 こんな人』

わげん便りシリーズ企画といたしまして、各法人の人物紹介を行いたいと思います。

## 1. 今の職業に就いた理由を教えてください。

高校生の進路を決める時期にテレビで観たドキュメント番組で児童養護施設が取り上げられており、そこで働く職員に魅力を感じ福祉に進むことに決めました。大学で児童福祉を学びましたが、当時の私には厳しい道であると感じ、早々に断念しました。

その後、一般企業の説明会にも積極的に参加しましたが、魅力を感じることはありませんでした。就職先を福祉に絞った矢先、就職課より「地元オープンして間もない高齢者施設がある」とご紹介いただき、ワゲン新横浜の採用試験を受けることとなり、今に至ります

ワゲン新横浜

生活支援部

部長

鮎川圭介



## 2. 趣味を教えてください。

子どもが生まれてからは、趣味らしい趣味はありません。子どもが親元から離れるまでは、子どもとの思い出作りを頑張ろうと思います。コロナ禍で家族との時間が増えたため、子どもと一緒にできる何かを探しています。週末は早起きし、混雑する前に大型遊具のある公園などに少し遠出しています。料理や家事にも参加してもらいます。

## 3. 今後の抱負を教えてください。

まだまだ若輩者で、ワゲン新横浜の部長としてしっかりと仕事ができるのか不安に感じることも多々ありますが、私をフォローしてくれたり優しく支えてくれる方もたくさんいます。皆さんをがっかりさせないように、より一層気を引き締めて業務に励もうかと思っています。ワゲン新横浜の青木施設長が過去の職員インタビューで話しているように「魅力のある法人」になれるように微力ながらワゲン福祉会に貢献できればと思います。

2022.07.Vol.19

■編集：ワゲン福祉会 広報

■お問い合わせ先：〒252-5225 神奈川県相模原市中央区小山3429

■mail：wagengkouho@wagen.or.jp

※わげん便りは社会福祉法人 ワゲン福祉会で出版されています。